

被災地支援活動報告

「つないで陸高！ なじよにかすっぺ！」

～陸前高田市社協支援活動報告～

3月11日の大震災以来、佐倉市社協は市内で被災した世帯や県内災害ボランティアセンターへの支援、また県外から避難してきた方に対し佐倉市と連携協力しながら支援してきました。また、関東ブロック社協の一員として、福島県相馬市(4月)、いわき市(7～8月)の災害ボランティアセンターへ職員を派遣しました。さらに、9月からは、千葉県社協および県内市町村社協とともに、岩手県陸前高田市社協を支援することになり、11月末まで2週間交代で職員派遣を行っています。

陸前高田市社協は津波によって事務所は流失、会長さんは行方不明、役員2名、事務局長、次長、職員6名が亡くなるという大変な被害を受けたところで、岩手県内で最も多くの犠牲者を出したところです。陸前高田市で亡くなった身元不明の方の火葬が千葉市斎場とさくら斎場で行われた縁もあり、千葉県の社協として陸前高田市社協を支援することになりました。

8月には佐倉市社協職員有志 20 名が陸前高田市内の水田の草刈りを行いました(写真)。また、岩手県沿岸部の被災地の後方支援を行っている遠野市社協に、佐倉市社協が使用していたワゴン車を寄贈しボランティアの送迎などに使っていただいています。

現在、陸前高田市災害ボランティアセンターは岩手県社協や青森県内の社協をはじめ、福井県や石川県、富山県下の社協、連合(日本労働組合総連合会)の組織をあげての支援が続いています。陸前高田市社協は事務局も間借りの状態で、組織の立て直しには長期的な支援が必要です。「つないで陸高、なじよにかすっぺ(なんとかしよう)」を合い言葉に千葉県は陸前高田市社協を応援しています。

